



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社平和

コード番号 6412 URL <http://www.heiwanet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画グループ (氏名) 高木 幹悦 TEL 03-3839-0701
ゼネラルマネージャー

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	93,703	109.3	21,346	40.4	24,585	22.4	16,835	24.5
24年3月期第2四半期	44,779	3.0	15,198	79.2	20,079	52.7	13,525	42.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 17,496百万円 (30.6%) 24年3月期第2四半期 13,399百万円 (42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	197.11	196.69
24年3月期第2四半期	158.55	158.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	396,610	139,299	31.9	1,480.47
24年3月期	406,875	124,826	27.7	1,320.93

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 126,512百万円 24年3月期 112,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,900	75.5	33,800	63.0	35,700	26.2	23,300	13.6	272.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	99,809,060株	24年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	14,354,492株	24年3月期	14,420,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	85,411,551株	24年3月期2Q	85,310,314株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（その他特記事項）

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績には、前第3四半期連結累計期間においてPGMホールディングス（株）を公開買付けの実施により子会社化したため、同社及び同社の連結子会社11社の業績を反映しております。

（第2四半期決算説明会）

当社は、平成24年11月13日（火）に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復傾向が続いたものの、欧州の財政不安や海外経済の減速、円高の長期化等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

遊技機業界におきましては、パチンコホールにおけるパチンコ機の稼働が伸び悩んでおり、パチンコ機の設置台数は減少傾向にあります。一方で、パチスロ機におきましては稼働が引き続き堅調に推移しており、設置台数は増加傾向で推移しております。

ゴルフ業界におきましては、ゴルフ場来場者数は東日本大震災前の水準に順調に回復しつつあるものの、ゴルフ場料金は長引くデフレの影響を受け下降トレンドにあります。

このような環境下、当社グループの遊技機事業におきましては、市場のトレンド変化に迅速な対応をするための開発体制の構築、映像クオリティの向上や演出面の作り込みを図るなど、パチンコホールにおいて長期的な稼働が見込めるエンターテインメント性の高い遊技機の開発に取り組んでまいりました。

ゴルフ事業におきましては、顧客ロイヤルティの向上とゴルフ場オペレーションの効率化を目的とした様々な施策を推進いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高93,703百万円（前年同期比109.3%増）、営業利益21,346百万円（前年同期比40.4%増）、経常利益24,585百万円（前年同期比22.4%増）、四半期純利益16,835百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(遊技機事業)

遊技機事業におきまして、パチンコ機は「ルパン三世 World is mine」、「麻雀物語 麗しのテンパイ乙女」、「シティーハンター 合言葉はXYZ」等を発売し、販売台数138千台となりました。パチスロ機は「ねえーねえー島娘」、「めぞん一刻 夏色の風と」を発売し、販売台数23千台となりました。

以上の結果、売上高52,264百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益15,571百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

(ゴルフ事業)

前第3四半期連結累計期間から、PGMホールディングス㈱及び同社の連結子会社11社を連結の範囲に加えたことにより、当社が運営する「ゴルフ事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

ゴルフ事業におきましては、引き続き業務提携によるポイント・プログラムの刷新や新Web予約システムへのリニューアル、さらにはゴルフ場の基幹業務システムの入替等の各種施策を進めております。また、コースメンテナンス管理において、夏場のコースコンディションを良好な状態に保ち、顧客満足度の向上に努めました。

以上の結果、売上高40,002百万円、営業利益7,542百万円となりました。

(その他)

その他の事業として、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行い、売上高1,436百万円、営業利益105百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期における総資産は、現金及び預金が増加する一方、有価証券・商品及び製品の減少等により前連結会計年度末に比べ10,265百万円減少し、396,610百万円となりました。

負債は、1年内償還予定の新株予約権付社債・長期借入金の減少及び負ののれんの償却等により、前連結会計年度末に比べ24,738百万円減少し、257,310百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の組み入れにより利益剰余金が16,835百万円増加する一方、剰余金の配当による減少2,988百万円等により前連結会計年度末より14,473百万円増加し、139,299百万円となりました。その結果、自己資本比率は31.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

当社及び一部の連結子会社は従来、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上していましたが、各社の定時株主総会及び取締役会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給が決議されました。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を取り崩し、打ち切り支給額の未払額637百万円については、固定負債の「その他」（長期未払金）に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,756	50,676
受取手形及び売掛金	17,492	15,641
有価証券	45,736	25,425
商品及び製品	5,596	3,422
原材料及び貯蔵品	7,451	7,262
その他	13,037	12,393
貸倒引当金	△511	△577
流動資産合計	126,560	114,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,494	50,556
土地	183,292	183,380
その他(純額)	11,368	12,304
有形固定資産合計	245,155	246,241
無形固定資産		
	3,854	3,931
投資その他の資産		
投資有価証券	21,956	23,543
その他	9,856	9,145
貸倒引当金	△507	△496
投資その他の資産合計	31,305	32,192
固定資産合計	280,315	282,365
資産合計	406,875	396,610
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,033	18,481
1年内返済予定の長期借入金	21,504	22,366
1年内償還予定の社債	—	7,984
1年内償還予定の新株予約権付社債	9,912	—
未払法人税等	4,045	4,366
引当金	2,364	1,413
その他	15,202	11,018
流動負債合計	72,062	65,631
固定負債		
社債	7,984	—
長期借入金	134,818	127,298
退職給付引当金	5,016	4,976
その他の引当金	1,410	—
負ののれん	4,301	—
その他	56,456	59,404
固定負債合計	209,987	191,679
負債合計	282,049	257,310

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,074	53,082
利益剰余金	57,807	71,655
自己株式	△15,802	△15,729
株主資本合計	111,834	125,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	958	763
繰延ヘッジ損益	△1	△13
その他の包括利益累計額合計	957	750
新株予約権	240	123
少数株主持分	11,793	12,663
純資産合計	124,826	139,299
負債純資産合計	406,875	396,610

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	44,779	93,703
売上原価	19,001	57,989
売上総利益	25,778	35,713
販売費及び一般管理費	10,579	14,367
営業利益	15,198	21,346
営業外収益		
受取利息	598	187
受取配当金	54	102
負ののれん償却額	4,301	4,301
その他	168	347
営業外収益合計	5,122	4,937
営業外費用		
支払利息	33	1,213
投資事業組合運用損	21	114
減価償却費	43	40
支払手数料	130	115
その他	13	214
営業外費用合計	241	1,698
経常利益	20,079	24,585
特別利益		
固定資産売却益	0	27
受取補償金	—	190
新株予約権戻入益	0	108
その他	—	16
特別利益合計	0	342
特別損失		
固定資産除却損	1	11
投資有価証券評価損	17	0
特別損失合計	18	11
税金等調整前四半期純利益	20,061	24,916
法人税等	6,535	7,209
少数株主損益調整前四半期純利益	13,525	17,706
少数株主利益	—	871
四半期純利益	13,525	16,835
少数株主利益	—	871
少数株主損益調整前四半期純利益	13,525	17,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	△195
繰延ヘッジ損益	—	△14
その他の包括利益合計	△125	△210
四半期包括利益	13,399	17,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,399	16,628
少数株主に係る四半期包括利益	—	868

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

当社グループの報告セグメントは、「遊技機事業」のみであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,264	40,002	92,267	1,436	93,703
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	78	78	19	97
計	52,264	40,080	92,345	1,455	93,801
セグメント利益	15,571	7,542	23,114	105	23,219

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,114
「その他」の区分の利益	105
セグメント間取引消去	1
全社費用（注）	△1,875
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	21,346

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 後発事象

該当事項はありません。